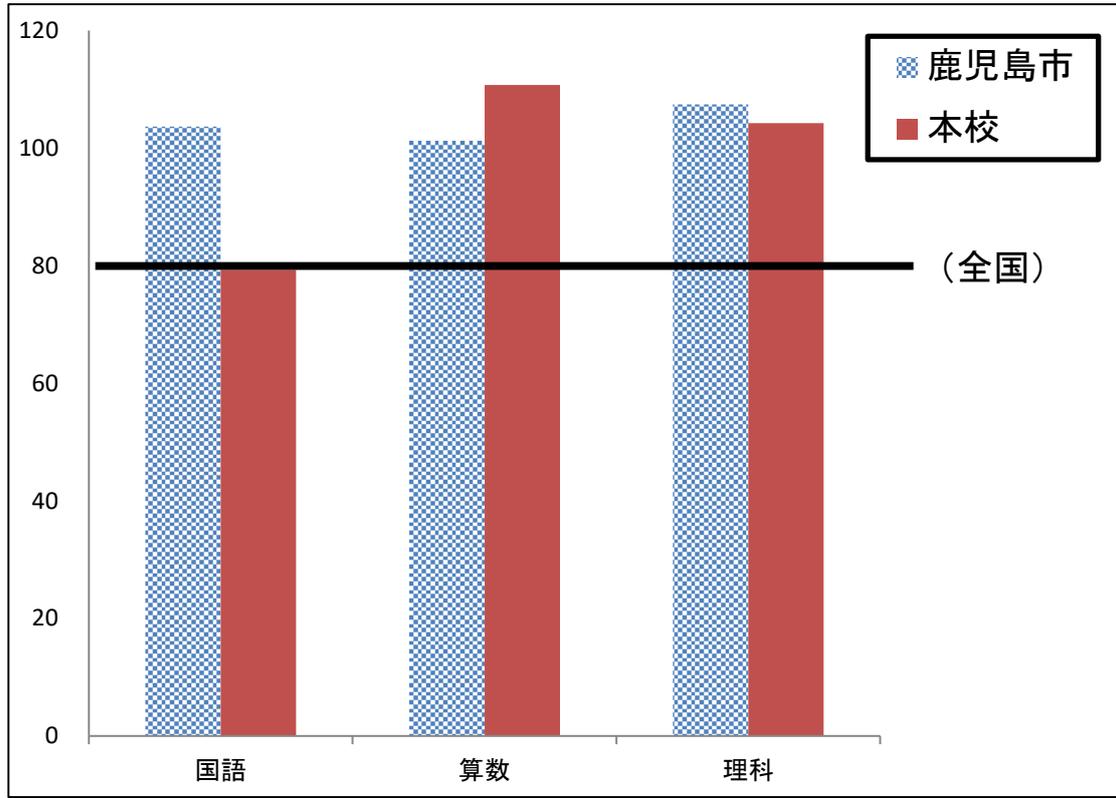


令和4年度全国学力・学習状況調査結果について
鹿児島市立一倉小学校

1 自校・市・全国の平均正答率の比較

〈 全国平均正答率を100とする棒グラフ 〉



2 自校の課題に対する改善策

〈国語〉

条件に合わせて書くことに課題が見られました。互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、自分の考えをまとめることができるように、他の人の発言の仕方を参考にしたり、資料から得た情報を関連付けたりしながら、自分の考えを書き、文章を組み立てるたりすることができるような指導や漢字の書き取り等の基礎基本的な学習にも継続的に取り組んでまいります。

〈算数〉

日常生活の問題を解決するために、目的に応じて、数量の関係に着目し、数の処理の仕方を考えたり、伴って変わる二つの数量の関係について考察したりすることに課題が見られました。数学的活動を通して、学習したことと日常の具体的な場面を対応させながら理解できるようにしたり、目的に応じてグラフやデータの特徴を捉え考察し、その特徴や傾向を読み取り、表現したりする指導の工夫に取り組んでまいります。

〈理科〉

観察などで得た結果を、結果から分かることの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことに課題が残りました。理科の学習の中で、実験結果から結論を導き出すために必要な数量、変化の大きさなどの特徴を見つけ、自分の考えをもち、表現し、他者と意見交換することの重要性について意識した授業を展開したり、学習したことを身近な生活の場面に関連付けて考えたりするなどの指導の工夫に取り組んでいきます。

〈全体的に〉

児童質問紙の結果から、一人一人の児童が学習の大切さを認識し、それぞれの教科の学習で問題意識をもって取り組んでいることが分かりました。また、既習した学習内容を使って自分の方法で問題を解決していきたいという意欲もはっきりもっていることが分かりました。また、将来の夢もはっきりもち、最後まであきらめずに取り組んでいることも分かりました。学校では、これまで通り、様々な表現の仕方を教えるとともに、自分の考えを友達に説明し理解してもらう経験を積むようにしてまいります。更に一人一人学校のきまりや友達との約束を守りながら、落ち着いた生活をしていると感じていることも分かりました。これからも学校では「子供を認める言葉掛け」を行い、自己肯定感を高めていきたいと思しますので、御家庭でも言葉掛けをよろしく願います。